

家庭科「子どもの発達と保育」授業実践紹介

授業者：西田 幸美 稲岡未来子

学年：3年 普通科、キャリア探求科

単元名：子どもの生活～自宅で幼児を預かるための保育計画を考えよう～

単元のねらい

1. 乳幼児の生活の特徴と適切な養護の在り方、生活習慣の形成、生活環境の整備、健康管理と事故防止などについて理解する。
2. 乳幼児の発育・発達を促すための望ましい生活について考え、適切に関わる態度を養う。

単元の流れ

- ① 1学期6月～：本荘にこにこ園実習にむけて【10時間】
 - ・児童文化財の実技講習会（2時間）
 - ・本荘にこにこ園見学（2時間）
 - ・本荘にこにこ園実習の計画・準備（6時間）
- ② 1学期末後7月：本荘にこにこ園実習【4時間】
 - ・二人組で4歳児または5歳児のクラスを担当
 - ・30分程度のレクリエーションを企画・運営
 - ・保育教諭の方のお手伝いと園児との交流
- ③ 2学期中間考査まで：子どもの生活について理解【18時間】
 - ・2学期最初の授業でパフォーマンス課題と評価について理解
 - ・教科書中心に子どもの生活について理解（9時間）
 - ・保育人形を使った沐浴実習、家庭看護実習、日常の世話の実習（6時間）
 - ・折り紙を使った造形実習、童謡の歌唱実習（3時間）
- ④ 2学期中間考査後10月まで：パフォーマンス課題のまとめと発表【4時間】
 - ・幼児のための間食調理実習（1時間）
 - ・パフォーマンス課題のまとめ（1時間）
 - ・パフォーマンス課題の発表・振り返り（2時間）

本荘にこにこ園での実習風景



パフォーマンス課題の発表風景



パフォーマンス課題のルーブリック

	A	B	C
保育計画	体験させたい能力がいろいろな場面で設定されている	体験させたい能力が遊びの場面で設定されている	体験させたい能力が設定されていない
	発達段階に考慮しながら、一日の保育計画を詳細に考えた	発達段階に考慮しながら、一日の保育計画を考えた	発達段階に考慮せず、一日の保育計画を考えた
絵本の読み聞かせ	基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している		基本的な生活習慣を身につけられないよう配慮していない
	発達段階を考え、絵本を選んでいる		発達段階を考えず、絵本を選んでいる
間食の調理	表情豊かに、適切な速さで聞き取りやすく読んでいる	適切な速さで聞き取りやすく読んでいる	読み誤りも多く、聞き取りにくい
	間食の目的を理解し、発達段階に合った献立・適量を考え、調理している	間食の目的を理解し、献立を考え、調理している	対象児にふさわしくない間食の献立である
まとめと発表	指定時間内に調理・片付けが終了した		指定時間内に調理・片付けが終了しなかった
	忘れ物もなく、条件を満たした実習ができた	条件を満たした実習ができた	忘れ物があった、実習の条件を満たしていなかった
まとめと発表	分かりやすくまとめ用紙が記入できている	まとめ用紙が記入できている	まとめ用紙の記入が不十分である
	大きな声で発表できた	発表できた	声が小さく、発表が分かりにくい

単元を通して身につけてほしいこと

子どもの発達の特徴や発達過程、保育などに関する知識と技術、子どもの発達や子育て支援に関わる能力と態度を身につけてほしいと願っています。

実践の背景

- 本校では平成30年度の研究課題として、生徒の意欲を引き出す「しっかりとしたりがいのある学習課題」(単元)の深化とその評価規準の設定と、すべての生徒が達成できるための効果的な足場かけに取り組んでいる。家庭科でも単元ごとにパフォーマンス課題を設定し、その単元で得た知識や技術を生かして取組める課題づくりを目指している。
- 「子どもの発達と保育」の授業は将来、保育教諭として働くことを希望する生徒が選択している。1学期、2学期10月までの間に「子どもの発達の特性」「子どもの発達過程」「子どもの生活」の単元について教科書や実習を通して学んでいる。1学期末には本校から徒歩20分のところにある「本荘にこここ園」で保育実習を実施している。保育実習では、4歳または5歳児のクラスを二人組で担当し、半日の保育実習の中で、30分程度のレクリエーションを二人で企画・運営する。その実習を通して、4・5歳児の発達過程をある程度、理解している。

授業改善のアプローチ

- 実際に触れあったことのある4・5歳児を自宅で預かることになったら、どう過ごさせるか、どんな配慮が必要かを今までの学習内容を通して身につけた知識や技術だけでなく、本やインターネットを利用して考え、保育計画を考えてほしいとパフォーマンス課題を設定した。

単元のヤマ場となる授業場面

パフォーマンス課題のまとめと発表【4時間】

第1次(1時間)	第2次(1時間)	第3次(2時間)
【間食調理実習】 各自が考えた間食を調理・片づけ25分以内で実施する。	【パフォーマンス課題のまとめ】 保育計画などをまとめ用紙に記入し、発表の要点を整理する。	【パフォーマンス課題の発表・振り返り】 保育計画、絵本の読み聞かせ、間食の説明、安全や健康に配慮することが聞き手によく分かるように発表し、振り返りを記入する。また、他の人の発表を聞いて、評価を行う。

パフォーマンス課題

あなたは4歳または5歳児を一人、10月29日(9:00~17:00)自宅で預かることになりました。安全と健康に配慮しながら過ごせるよう、一日の保育計画を立てましょう。

(条件1) 絵本の読み聞かせをする(1冊以上)

(条件2) 1食分の間食を調理する

① 間食の調理は10月30日(火)授業時に行う。

② 調理と片付けは25分以内(冷却・加熱時間等も含める)で完了させる。

③ 学校にある調理器具で調理できること。

評価

期末考査は実施せず、実習の取組と成果物、パフォーマンス課題への取組と発表で評価を行った。

① 沐浴実習(10%)、家庭看護実習(10%)、日常の世話の実習(10%)、折り紙を使った造形実習(10%)、童謡の歌唱実習(10%)

② パフォーマンス課題(50%)

生徒の変容

1学期末の保育実習へ行く前は「まあ、何とかなるわ」と子どもの発達段階の理解や危機管理への意識、レクリエーションの準備も十分ではなかった生徒たちが、読み聞かせの絵本を選ぶ時、間食と関連づけた内容のものを選んだり、お昼寝前に読むから楽しく寝られる内容を選んだり、間食の内容を考える時、子どもが掘ってきたさつまいもを使った内容にしたり、各自が子どもの立場になって、どのように計画すれば、一日が楽しく、安心して過ごせるかを考えていた。子どもを預かる時に、子どもから目を離す時間がないように、事前に間食を調理する練習をしたり、ある程度下ごしらえをしたりしておいて、調理時間を短時間にする工夫をするなど、各自が様々な場面を想像しながら、取組んでいた。また、普段は幼児が同居していない自宅で幼児が安全に過ごすには何に注意しなければいけないか、応急処置ではどのようなことができるようになっていたらよいか、詳細に考えられていた。